

“Great Wall” Street Journal

# 長城街日報

～中国株の現場から～



No.190 (不定期配信)

東洋証券株式会社  
上海駐在員事務所 所長  
奥山 要一郎  
2007年入社、本社シニアストラテジ  
スト等を経て、2015年より現職

## 悲喜こもごもの株式市場、事実はドラマより奇なり

中国で年末から年始にかけて「繁花」(Blossoms Shanghai) というドラマが大ヒットした。主な舞台は1990年代前半の上海。ある青年が一獲千金を夢見て、誕生したばかりの株式市場で奮闘する成り上がりストーリーだ。監督はウォン・カーウァイ(王家衛)。90年代の名作「恋する惑星」のメガホンを取ったレジェンドである。独特のカメラワークによる映像美、懐かしいジュークボックスのような数々の挿入歌に加え、舞台となる和平飯店やレトロな衣装などから「あの時代は良かった」と感じる視聴者も多かったらしい。株がテーマなので、業界関係者の間でもこのドラマの話題で持ちきりだった。

★ ★ ★ ★ ★

事実は小説(ドラマ)より奇なり。年初の中国株市場はジェットコースターのような感じだった。香港メディアによると、1月の深セン成分指数(13.8%下落)は世界主要指数で最悪のパフォーマンスとなり、ハンセン指数が9.2%下落でワースト2位。上海総合指数は6.3%安だった。

その中で、にわかに注目されたのが海外ETF(上場投資信託)。中国市場にはTOPIXや日経平均株価を連動対象とする5本の日本株ETFが上場しており、中国人投資家は間接的に対日投資ができる。1月中旬には「華夏野村日経225」ETFに買いが殺到し、売買が一時停止に追い込まれた。買い注文が殺到して取引価格が基準価額(1口当たりの純資産価格)を大幅に上回り、投資家が重大な損失を受ける可能性があったからだ。「マネー流出」と言える動きに、中国当局は苦々しい気持ちを覚えただろう。

「下落する日が1日減った！」——。ネット上には、個人投資家による皮肉と自嘲交じりのコメントが並んだ。昨年末、各証券取引所が春節(旧正月)前の大晦日(2/9)を休場にすると発表。元々は取引日としていたのを撤回した形だ。「これで損失を被ら



なくて済む」。ブラックすぎて笑えない……。

「人生は株だけじゃありません」——。とある上場企業が2月2日、投資家とのオンライン交流プラットフォーム上にこう書き込んだ。「父母、配偶者、子供、友達もいます。投資家の皆さんには、一時的に株式市場から離れ、執着心を捨てて気分転換し、リラックスして平和な気持ちで新年を迎えることをお勧めします」。全てを吹っ切り、何かを悟ったような言い方だ。その後、この投稿は閲覧不可となった。

★ ★ ★ ★ ★

ジェットコースターは止まらない。2月上旬、政府系ファンドによるETF買い増しや証券当局による空売り規制などの「支援策総動員」がようやく功を奏した。深セン成分指数は2月6日に6.22%高、翌7日は2.93%高と大幅上昇。この勢いが続くかどうか。政策も大事だが、投資家の自信回復も不可欠だ。静かに春節を迎え、心を穏やかにしてリフレッシュ。本格スタートする辰年相場に期待したい。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

## ◆ 注意事項 ◆

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 1.1000%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客様に提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

### 利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

#### **【免責事項等】**

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商号等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本社所在地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<https://www.toyo-sec.co.jp/>

2024年2月9日  
審査部審査済